

令和7年度 学校評価 自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立浅羽野小学校
実施日	2月4日

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	本校は、目指す学校像の実現に向け、組織的・計画的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 大きな行事であればあるほど、その検討には時間と職員の共通理解が必要と考える。 年度当初に比べて聴き合える児童が増えてきたと感じる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標である「なかよく かしく 元気よく」を掲げ、国際会議の開催など校内で目標を共有して実現に向けて取り組んでいると感じる。 年度当初より経営方針(目標)を示して取り組まれており、大変な難く開かれた学校である。 取組ながら達成度合いをみて、軌道修正が必要であれば修正を行い、その内容を公表をお願いする。 学校だよりや『すぐー』の便りに常に教育方針が伝わってきている。
	2	本校は、災害や事故等に対する組織的な体制を整えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 職集などで報連相を行うだけではなく、その後改善策を立て周知をしている。 ここ数年、整理整頓がされ、きれいに整ってきた。しかし、出したものがそのままになっていたり児童に任せっきりになっていたりする部分がある。使ったものは片付ける、最後まで見届けをすることができるようになっていく必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練だけではなく、不審者が侵入したことを想定した防犯訓練を実施するなど、防災や防犯に対して危機管理意識を高く持っている。 災害や事故の発生は予測不能な場合が多く、事前に想定の実践訓練することは非常に大切なことであるので、継続して実施してください。 日常的に児童たちが自転車乗車中にヘルメットを着用していることを見かける。学校からの指導の結果であると思います。交通ルールも順守されるよう指導をお願いします。 学校内の整理整頓については、事故を未然に防ぐことへもつながりますので、教職員の方々だけではなく、児童たちと共に協力して対応いただきたい。 環境整備に空調、手洗い場の予算を組み込んでほしい。
	3	本校は、働き方の改善を推進している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 時期によって、仕事が重なり、忙しい校務分掌等があるので、部会で分担できるよう分掌の部員を割り当てるなど、人数の工夫が必要かと思う。 ノー残業デーも設定はされているが、実際には保護者対応等で残業せざるを得ないケースもあるので実施できているとは言い難い。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働の削減目標と現実とのギャップもあると思うが、実現に向けて努力していると感じる。 教職員の個人差により時間外勤務状況は異なると思います。長時間勤務者となる要因を確認いただき、組織でどのように対応・改善できるか検討することで減少へつながるのではないかと思います。 数年前より改善されていると感じる。今後も心身の健康を損なうことのないよう継続していただきたい。 時間のみで働き方改革を推進するのは難しさを感じる。 学校全体で、無理をしない働き方を推進している考えが伝わってきた。 どの学校も同じ悩みを抱えています。休憩時間は設定されていても、実際は休憩が取れなかったり、採点・教材研究の時間をとられたり…。ノー残業デーを確実に実施したり、長期休業中の勤務時間の緩和
教育課程・学習	4	本校は、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに取り組んでいる。(市重点項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> 私たちは常にクラスの子どもたちにより良いものをもと実践してきている。その方法が本校の児童にとってより良いものなのかどうか、どのように取り入れていくのが効果的なのかどうかを考えることが大切だと思う。 学校研究を通して、ペアやグループでの学習活動が充実してきたと感じている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教師同士で学び合うなど、教育方法の改善に向けて具体的な取り組みをしている。 授業参観をさせていただき、児童たちが自由に発言できる環境が整っていると感じます。また、児童たちがグループで互いに意見を出し、話し合う姿を見て学びあいによるものと感じました。今後も児童の自由な発想を引き出し、学習へ興味を抱く授業内容となるよう努力をお願いします。 落ち着いて授業を受ける児童の様子が見られる。先生がこどもの声をよく拾ってグループでの学び合いに好感が持てる。 熱心に授業研究・研修を重ねている。 体験学習を積極的に取り入れている。 全員が授業を公開するなど、授業づくりに頑張っていると思う。坂戸市は他市に比べてかなり進んでいると思う。特に浅羽野小は進んでいる。
	5	本校は、豊かな心を育む教育の充実を図っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶はできているが、言葉遣いが気になる。丁寧な言葉が使えるように日頃から声をかけていく必要がある。 自分の思いをうまく伝えられず、それが態度に出ている児童がいる。どのようにアプローチしていけばいいか研修を進めたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題など、大きなトラブルは起きていないが、問題発生時には当事者の状況を丁寧にヒアリングし、問題解決と再発防止に努めている。 様々な生活環境で育っている児童にとって、互いを思いやる心を育むことは難しい課題だと思います。日ごろからの様子を観察し、児童の変化を見出せるよう努力願います。 あいさつについては、誰にでもできる児童ばかりではないと感じます。少しずつできるようになることを期待します。 児童の心をよく見つめてくださっていると伝わってくる。互いに尊重する、人を大切にできる気持ち、が大切だと思う。 穏やかに明るく育っていると思う。
資質の向上	6	本校は、体罰や交通事故等の不祥事を根絶するための効果的な取組を実施している。(市重点項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から職員間のコミュニケーションがとれている。主任を中心として、共通認識をとることができていると思う。 児童の着替え場所について、あいまいな部分がある。学年によって少人数教室を使用したり、時期によって使用したりしている実態を改善したい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 昨今で話題になった教師による盗撮問題が表面化した際には、学校責任者自らが校内をチェックするなど迅速かつ丁寧に対応している。 常に倫理観を持ち続け対応できるよう、研修会や日頃からの意見交換など良い職場環境を維持し続けてください。
	7	本校は、不登校の未然防止や課題解決のための取組を実施している。(市重点項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年は、ケース会議が定期的に行われ、担任一人で抱え込まないように、色々な教員が関わられるようになっている。子どもや親への対応も、管理職や学年の教員、相談員の方など、包括的に行っている。 個に応じた支援をするには絶対的に職員数が足りない。管理職の先生方が出払って職員室が空になる状態になるほど、職員は必死に動いている。早急に職員を増やしていただくことをお願いしたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 不登校気味であっても児童に寄り添い、一人一人の個別の心理状況に合わせた提案や対応をしている。 日頃から不登校対策に尽力いただいていることに感謝いたします。様々な家庭環境の中での対応に苦慮されていることと思います。対応・対策には学校全体だけではなく、教育委員会等含めた組織全体で望まれていると思えますが、先生方が一人で抱え込まないよう望みます。 不登校になった児童が登校できるよう、丁寧な対応をしてくださっていた。 管理職の先生方、教職員にも合わせて気配り、目配りが見られる。 教室を回ったり、運動会の様子を見ていると、子供たちが教員を本当に信頼していることが見て取れる。これは、先生方が一人一人によく接し大切にしているためだと思う。
8	本校は、特別支援教育の充実を図っている。(市重点項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> 担任の先生方がもう少し余裕を持てるよう、支援員さんなどもっと人を配置してほしい。 特別支援コーディネーターだけでなく、生徒指導主任や教育相談主任と連携して、保護者との面談やケース会議などをしていくと負担が偏らない。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 定員を満たしている状況ながらも、全体を隈なく見渡しながら的確かつ柔軟に対処していると感じる。 学校側の体制がギリギリの中での対応は、大変なことと思います。授業参観をさせていただき、個々に寄り添いながら充実した教育をされていることがよく分かります。今後も児童へ保護者へ寄り添った対応をお願いします。 教室に個々のその日の課題が明確になるような工夫がされていた。 クラスによって違いを感じ、横の連携があるとより良い。 	
家庭の連携・地域と	9	本校は、積極的に家庭・地域等と連携・協働している。	A	<ul style="list-style-type: none"> すぐーでの配信、とてもありがたい。保護者も喜んでいる声が聞こえてきた。 地域の各施設・団体のおかげで豊かな体験活動ができた。 校門の掲示板の装飾や、ゲストティーチャーなど学校に関心のある方がたくさんいると感じた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりの発行、連絡アプリすぐーの活用など、保護者とのコミュニケーションの一環としての発信を定期的に行っている。 学校からは情報伝達手段を十分に使いながら発信いただくことで、保護者や地域住民の方々から学校での状況を確認できていると思います。毎日のことで大変な苦勞をされていると思いますが、是非今後も続けてほしい。
小中一貫教育	10	本校は、小中連携を推進している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの研修や、集会などを通して実際に中学校の先生から話を聞いたり、生徒を見ることができてよかった。 小中で共通理解を図れる場が何回かあるとよい。定期的に行っている小中連絡会や研修はあるが、回数も少なく共通理解するのが難しいように感じる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 小中の学区がほぼ一致していることを利点と捉え、積極的に連携を図っており、児童や生徒の密な繋がりを生むなど一定の効果が出ていると感じる。 児童にとり中学校から先生が来て様々な授業を受けることで、中学校への不安や疑問が減っていくことと思います。 あいさつ運動、陸上の練習、部活動、先生方の交流と積極的であればいい。 浅羽野小中のそれぞれの校長先生のお話から、連携の取り組みがよく分かった。